

平成 30 年度 第 5 回理事会議事録

- I. 会議名 : (公社) 日本地すべり学会 平成 30 年度第 5 回理事会
 II. 開催日時 : 平成 31 年 3 月 14 日 (木) 14 時 30 分～18 時 10 分
 III. 開催場所 : 一橋大学 一橋講堂 特別会議室101
 IV. 出席者 : 理事出席 14 名, 監事出席 1 名, その他 1 名

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
理事	浅野 志穂	○	理事	櫻井 正明	○	理事	平松 晋也	○
理事	新井場公德	○	理事	笹原 克夫	×	理事	松浦 純生	○
理事	石丸 聡	×	理事	柴崎 宣之	○	理事	八木 浩司	○
理事	榎田 充哉	○	理事	高山 陶子	○	理事	若井 明彦	○
理事	小山内信智	×	理事	中里 裕臣	○	理事	渡部 直喜	○
理事	加藤 猛士	○	理事	中村 真也	×	—	—	—
理事	後藤 聡	×	理事	西井 洋史	○	(理事 14 名, 定足数 10 名)		

監事	相楽 渉	×	監事	白木 克繁	○	(監事 1 名)		
ICL 委員会	檜垣 大助	○	—	—	—	事務局	鈴木 英則	

○定足数 10 名 (理事の過半数) を満たし, 理事会は成立した。

○議事録署名人は, 八木会長, 白木監事。

<議長あいさつ>

八木会長が開会のあいさつを行った。

議題 I. 審議事項

- ・平成 30 年度 (公社) 日本地すべり学会 第 4 回理事会議事録の確認

八木会長が、平成 30 年度 (公社) 日本地すべり学会 第 4 回理事会の議事録に関し確認を求めた。賛成 14 票, 反対 0 票で承認された。

1. 2019 年度事業計画

各部・支部理事より、資料に基づき 2019 年度事業計画について説明が行われた。理事から

の意見は、以下の通りである。

・2018年9月に行われて内閣府の立入り検査で研究助成の新規選定に当たっては、選定の審査過程を記録と残すよう指導を受けたので、研究助成の新規選定に当たっては、選定の審査過程を記録として残して欲しい。

・審議の結果、賛成14票、反対0票で承認された。

2. 2019年度収支予算

柴崎理事より資料に基づき説明が行われた。理事からの意見は、以下の通り

・日本人の研究国際活動を活発化させるために、ICLの会員である地すべり学会がICLが出版しているLandslidesの年1回の編集権を得ることが出来ないか？

→ILCの日本の窓口の佐々先生へ問い合わせをしてみる。

・来年度にホームページの改修費用は発生しないか？

→原価償却として年20万円の費用が発生する予定である。大きな改修費用は発生しないと考えている。

・審議の結果、賛成14票、反対0票で承認された。

3. 2019・2020年度における社員総会・理事会日程

八木会長より、資料に基づいて説明が行われた。審議の結果、賛成14反対0で承認された。

4. 謝金細則の制定

柴崎理事より、資料に基づいて説明が行われた。細則第3条、4条を以下に変更することを条件に審議した結果、賛成14反対0で承認された。

・第3条

この細則による支払対象者は、原則的に学会員以外とする。ただし、特別な場合を除く。

→(修正) この細則による支払対象者は、原則的に学会員以外とする。

・第4条

(ア) 講演・講師料

講演・講師の実施及び講演・講師に伴う原稿執筆等の報酬として支払う謝金

→(修正) 講演・講師の実施及び講演・講師に伴う原稿執筆等の報酬として支払う金銭

(イ) 交通費・宿泊費

講演・講師等にかかわる交通費、宿泊費として支払う謝金

→(修正) 講演・講師等にかかわる交通費、宿泊費として支払う金銭

5. シニア会によるイタリア・バイオントダム災害の巡検

八木会長より、資料に基づいて説明が行われた。審議の結果、賛成 14 反対 0 で承認された。

6. 応用地質学会の一般社団法人化 10 年記念共催セッション

八木会長より、資料に基づいて説明が行われた。審議の結果、賛成 14 反対 0 で承認された。

7. WLF5 への対応

檜垣 ICL 委員会委員長より資料に基づき説明が行われた。理事からの意見は、以下の通り。

- ・現時点での WLF5 へ参加見込み人数は 350 名程度である。全体で 600 人程度の参加者にし
たいので、地すべり学会として学会員や会員が所属している会社へ参加の呼びかけをして欲
しい。

→現在、地すべり学会として学会員や会員が所属している会社へ参加の呼びかけをしてい
るところである。今後も呼びかけを継続したいと考えている。

- ・地すべり学会が WLF5 のスポンサーになってブース等を出すことは考えていないか？

→地すべり学会としては WLF5 へ人的支援は行うが、金銭的支援は行わない方針は以前と変
わらない。

- ・審議の結果、賛成 14 反対 0 で承認された。

8. 入退会者状況

- ・鈴木事務局長より、資料に基づいて入退会者状況について説明が行われた。審議の結果、
入会者については賛成 14 反対 0 で承認された。

議題Ⅱ. 報告事項

1. 第 58 回研究発表会及び現地見学会

浅野理事より、資料に基づいて第 58 回研究発表会（熊本大会）の開催計画について報告が
なされた。

2. 第 59 回研究発表会及び現地見学会（予定）

櫻井副会長（関東支部長）より、資料に基づいて第 59 回研究発表会（山梨大会）の開催計
画について報告がなされた。

3. 学会特別研究員の退職

中里専務理事より、資料に基づいて学会特別研究員の 2019 年 3 月 31 日付け退職について

報告がなされた。退職理由は、雇用契約期限の終了である。しかし、退職者から退職理由は、「学会の都合で退職となる。」として異議が出ている。

4. 支部行事でのパンフレットの配布

鈴木事務局長より、支部等の行事を行う際は、地すべり学会のパンフレットを配布して欲しいと報告があった。

5. 海外からの入金用学会口座の開設

鈴木事務局長より、資料に基づいて海外からの入金用学会口座の開設について報告がなされた。

6. 第7回防災学術連携シンポジウム

榎田副会長より、シンポジウムへの参加報告およびシンポジウムの概要について報告がなされた。

7. その他

渡部理事より、地すべり学会編集委員会に元大阪大学准教授の研究成果に関する調査チームが設立された。

以上

議 長 八木 浩司 ㊟

議事録署名人 白木 克繁 ㊟